

小野塚いい子（松之山出身）

春のふるさと交流会

春のふるさと交流会への参加は三回目となりました。一回目は「Jネットの桜」植樹の時、二回目はその二年後。植樹から六年を経て、周りの大木に比べると未だ少年のような雰囲気を漂わせる若木ではありました。しかし根付き、枝を張り沢山の花をつけている姿は素敵でした。自分の手でスコップを握り、元気

に大きく「なれ」と土寄せた植樹の時の感動を思い出しました。嬉しい事です。

さて、四月十日午後一時の高田公園入口集合に合わせ、越後湯沢経由ぼくぼく線を利用し高田に向かいましたが、着いてみると天気予報どおりの雨で、四月にしては寒い日となりました。「花冷え」のことばを思いながら集合地へ。

最初の行事は、高田城見学で一月の文

部屋全体になびいておりました。雄大な妙高・南葉山を借景にして見る、岩関邸からのお堀と桜は天下一品です。私達を歓迎するかの様に雲に隠れていた妙高山も、途中より姿を見させてくれました。はね駒もくつきと見え、懐かしい風景に出会えて、これも嬉しい事のひとつでした。

宿泊地は柿崎区のマリンホテルハマナス。波打ち際の丘に建ち、窓から見えるのは砂浜と船小屋、日本海だけという構造、本丸土壘・三重櫓についてレクチャーを受けました。詳しい説明に、高田出身の会員の方々も「なるほどなるほど」と改めていい勉強の機会になったと喜んでいました。

勉強会も終わる頃には冷たい雨も上がりいました。雨の為、Jネットの桜が止りました。木の下での観桜会を中止して、公園を横切りお堀端にある「岩関邸奥座敷」をお借りして臨時の観桜会会場に向かいました。木浦市長はじめ、地元の方々も交じた。木浦市長はじめ、地元の方々も交じた。木浦市長はじめ、地元の方々も交じた。

蔵院、柿崎川ダム、庭が何種類もの椿の花でいっぱいの坂口記念館、瀧本亭（豪農の館）、コッペル号、樹下美術館等を見学、ながらテーブルには故郷の山菜料理がいっぱいに並び、感謝感謝の気持ちで楽しく美味しくいただきました。多くの元の方々の参加もあり交流会の楽しがが

宿泊地は柿崎区のマリンホテルハマナス。波打ち際の丘に建ち、窓から見えるのは砂浜と船小屋、日本海だけという構造、本丸土壘・三重櫓についてレクチャーを受けました。詳しい説明に、高田出身の会員の方々も「なるほどなるほど」と改めていい勉強の機会になったと喜んでいました。



小野塚いい子さん

宿泊寺泊「日本海」のバスにのって、一路お宿に向かいます。

参加者は、和久井、松川、勝島、中村さん。二日目は吟田川（ちびたがわ）ブランドの酒蔵代々菊酒造を訪ね、中越沖地震、家の災難を受けながらも辛苦勞しながら酒づくりに頑張っている話を聞きました。銘酒のきき酒の後、私はお気に入り「水の幸大吟醸生」を留守番の夫へ土産用に購入。

良寛さんの生まれた出雲崎（天領の里）を経て、途中柏崎原発を見学の予定でしたが、閉館時間となつてしまい割愛しましたが、閉館時間となつてしまい割愛しました。宿泊は日本海に沈む夕日を贅沢に一望できる「海風亭」寺泊日本海。波の音を経せる音が印象的でした。

此處では海の幸で二日目の宴会が始まりました。持ち込んだ上越のお酒を楽しめ、食後は腹こなしにカラオケを楽しみ、もちろんナイトフィーバー。

翌朝魚のアメ横寺泊でショッピング。
前夜の食卓に上がり、初めて食した「の
どグロ」の生の姿を見つけ、のどだけで
なく腹も黒かつたことを発見しました。

旧分水町にある大河津資料館を見学、
信濃川の増水による越後平野での水害を
なくすために、信濃川と分岐・分流させ
長岡市を抜けて日本海に流す大河津分水
となる人工の川を目の当たりにしました。

先人達のご苦労を思い出しました。

その後、朝日山公園の国上山（ぐにが
みやま）に向かい、国上寺（くじょう
じ）を参拝、脇からの登山道を行くと良
寛さんが四十八歳から五十九歳までの十
年間住んだという五合庵がひつそりと
建っていました。大正三年に再建され
たという建物は古く簡素なひなびた庵で
したが、その縁先に座わると目前の緑の
中に赤い藪ツバキの花が話しかけてくる
ようでした。良寛さんもこんな風に椿の
花と向きあっていたのかなど、遠い日を
想像しました。

五合庵を通り越し、階段になつてある
山道に入ると、山歩きが好きな人はた
まらないコースが続きます。途中深い谷
ものすごく大きな吊り橋があり、高い
所がダメな私はある男性の手を握りなが
らやつと渡りました。山頂の朝日山展望

台までは一時間ほどの距離で、山頂は芝
生に覆われており、家族連れや二人連れ
が、楽しそうにお花見弁当を広げている
のを見ると若かりし時を思い出します。

「良寛さんと毎の像の前でJネットの
サンババ（早川・日下部・小野塚）は記
念写真のモデルにと所望されボーズをと
りました。

次は弥彦神社参拝で
す。三日間の疲れが出た
のか、サッサと心を込め
たお参りをして帰つて
きました。参加者の体力
を考えると、いささか欲
張つていたようです。

午後三時、燕三条駅で
解散。サンババは新幹線
で東京へ戻りました。

八十年を越した早川
さん、病魔と奮闘中の日
下部さんお疲れ様でした。
オプション旅行を計
画された中村さん、有り
難う。又サンババを旅
誘つて下さい。

台までは一時間ほどの距離で、山頂は芝
生に覆われており、家族連れや二人連れ
が、楽ししそうにお花見弁当を広げている
のを見ると若かりし時を思い出します。

「良寛さんと毎の像の前でJネットの
サンババ（早川・日下部・小野塚）は記
念写真のモデルにと所望されボーズをと
りました。



市長を囲んで



岩間郡よりの眺望



岩間さんのお世話をになりました



岩間邸での交流会





柿崎・マリンホテルハマナスにて





米山薬師にて



持崎川ダム



楞厳寺



楞嚴寺



吟田川・代々菊酒造



吟田川・代々菊酒造



瀧本邸



瀧本邸



樹下美術館



コッペル号



仲よし三人組



寺泊のホテル日本海にて



良寛さんの五合庵



弥彦神社



良寛さんの絵の像と三ババ